

袋井のびやか保育園 自己評価

達成度判定は、A(100%-80%)、B(80%-60%)、C(60%未満)

| | | 2025年度 | | 2024年度 | | 2023年度 | | |
|-------------------------------|---|---|------------|---|------------------------------------|---|--|--|
| | | 現在の取組及び状況 | 今後の改善計画・目標 | 現在の取組及び状況 | 今後の改善計画・目標 | 現在の取組及び状況 | 今後の改善計画・目標 | |
| | | 判定 | | 判定 | | 判定 | | |
| 保育内容 | | | | | | | | |
| 本体的な計画の作成 | | | | | | | | |
| 1 | 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた本体的な計画を作成している。 | 保育の理念、基本方針、保育目標に基づき、本体的な計画を作成している。 | A | 全職員が園からの発達の達成性の理解や、本体的な計画内容の把握をし、保育にかかわる。 | 保育の理念、基本方針、保育目標に基づき、本体的な計画を作成している。 | A | 保育の実態や、子どもの状況、発達段階を踏まえ全職員で共通理解をし、保育の質の向上を目指している。 | |
| 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | | | | | | | | |
| 1 | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごせることのできる環境を整備している。 | 子どもが安全で安心して過ごせる環境整備に配慮し、定期的な点検し、清潔を保っている。危険箇所がある場合はセリハット工事などにより対策を迅速し、速やかに改善するようにしている。 | A | 今後も子どもが安全で安心して過ごせる環境整備に配慮し、定期的な点検し、清潔を保っている。危険箇所がある場合はセリハット工事などにより対策を迅速し、速やかに改善するようにしている。 | A | 子どもが安全で安心して過ごせる環境整備に配慮し、定期的な点検し、清潔を保っている。危険箇所がある場合はセリハット工事などにより対策を迅速し、速やかに改善するようにしている。 | A | 子どもが安全で安心して過ごせる環境整備に配慮し、定期的な点検し、清潔を保っている。危険箇所がある場合はセリハット工事などにより対策を迅速し、速やかに改善するようにしている。 |
| 2 | 一人ひとりの子どもを愛育し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 | 一人ひとりの子どもと信頼関係を築くことを第一に、園が子どもの安心基地になれるように、子どもの思いを尊重し応答的に関わるなど温かな保育を目指している。 | A | 言葉、文化など多様な社会背景を十分理解して、どのような子どもも柔軟に受け入れ、対応ができるよう、インクルージョン研修等に参加する。 | A | 保育員が好き、明日も来たいという気持ちを持てたり、安定した気持ちで過ごせるよう子どもひとりひとりに保育士が明るく愛情豊かに関わる保育を引き続き基本としていく。 | A | 一人一人の子どもと愛着・信頼関係を築けるように、1対1で丁寧に関わる時間や、園からの安心感を感じられるよう、子どもの思いを受け止めたり、応答的関わりを機会を大事にしている。 |
| 3 | 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。 | 保育室から手洗いやトイレに行くなどの動線を見直ししたり、子どもたちがスムーズに動けるように保育室の扉の開閉方法を改善して環境整備をした。 | B | 一人ひとりの発達段階に応じた適切な援助を行い、自らやろうとする気持ちを支えたい。さらに意欲が高まるような環境の工夫と整備を行う。 | B | 生活習慣を整え、職員配置がよりスムーズに行動できるように工夫しているが、個別の援助が行き届かない点もあるため、職員間で声をかけながら対応していきたい。 | B | 基本的な生活習慣が身につけられるよう、生活環境の整備や子どもの動線に合わせた職員配置と、一人一人の発達や意欲に応じた援助等を心がけている。 |
| 4 | 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | 保育室やホールなど、子どもが自由に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | A | 保育者や子どものかかわりが、より豊かである遊びの仕掛けや遊び道具の用意に留意している。様々な場面で遊びのびとじっくり自分の遊びができていく。 | B | 子どもの興味や関心に応じた様々な遊びを用意している。保育者や子どもと関わりながら活動ができていく。子どもたちの主体性をさらに伸ばしていきたい。 | B | 子どもの興味や関心に応じた様々な遊びを用意している。保育者や子どもと関わりながら活動ができていく。子どもたちの主体性をさらに伸ばしていきたい。 |
| 5 | 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | 子ども一人一人の発達過程や特徴を踏まえたうえで、それぞれの関わり合いに応じた個別の保育計画を作成し、保育を行っている。 | A | 自分の気持ちや言葉でできない0歳児の子どもにとっては、保育者の関わりはとて大切である。温かく応答的な環境をつくり、安心して遊ぶことのできるようにする。 | A | 子どもの興味や関心をより高めたいけるよう適切な環境を整備し保育の内容や方法を常全職員で考えていく。 | A | 子ども一人一人の心身の発達や興味・関心を十分把握した上で、それに応じた保育内容の計画をし、個別の援助方法を考えながら保育を行っている。 |
| 6 | 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | 子ども一人一人の発達過程や特徴を踏まえたうえで、それぞれの関わり合いに応じた個別の保育計画を作成し、保育を行っている。 | A | 子どもの自己の育ちを支えられよう、適切な環境を整備し保育の内容や方法を常に全職員で考えていく。 | A | 子どもの自己の育ちを支えられよう、適切な環境を整備し保育の内容や方法を常に全職員で考えていく。 | A | 子ども一人一人の心身の発達や興味・関心を十分把握した上で、それに応じた保育内容の計画をし、個別の援助方法を考えながら保育を行っている。 |
| 7 | それぞれの子どもが在園時期を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | それぞれの在園時期や家庭状況を考慮し、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | A | 異なる年齢の関わりの中で安心して遊ぶ環境を整備し、長期間保育が必要な子どもの保育内容についてさらに工夫していきたい。 | B | 子どもの状況を把握した上で利用時間の長い子どもには1対1の関わりをより大切にしたい。安心感を持てるように、特に今年度は利用時間が長い0歳児の人数が多いこともあり、保育内容はさらに配慮が必要である。 | A | 子どもの状況を把握した上で利用時間の長い子どもには、1対1の関わりを大切に保育し、安心感を持たせている。 |
| 健康管理 | | | | | | | | |
| 1 | 子どもの健康管理を適切に行っている。 | 保護者から前夜の様子を聞き取り、登園時の検診、保育中の体調観察、こまめに検温を行うなど、一人一人の健康観察をしっかりと行っている。 | A | その日の子どもが体調や健康等を職員間で把握しながら、健康管理を適切に行っていく。 | A | 登園時の検診、保育中の体調観察、毎日3回検温を行うなど、一人一人の健康観察をしっかりと行っている。 | A | 登園時の検診、保育中の体調観察、毎日3回検温を行うなど、一人一人の健康観察をしっかりと行っている。 |
| 2 | 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。 | 健康診断の結果や、一人ひとりの体調・健康状態の把握が職員間で通知されている。 | A | 引き続き、把握して保育に反映させる。 | A | 健康診断の結果や、一人ひとりの体調・健康状態の把握が職員間で通知されている。 | A | 引き続き、把握して保育に反映させる。 |
| 3 | アレルギー疾患、慢性疾患のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | 今年度はアレルギー疾患の子はいなかったが生活管理表やアレルギー対応マニュアルに沿った対応の仕方や園内研修で職員間で理解した。慢性疾患の子については保護者と連携を取りながら医師の指示に従って対応できる。 | A | 今後もアレルギーや慢性疾患のある子どもへ、全職員が正しい知識を持ち、適切に対応できるようにする。 | A | 今年度はアレルギー対応の研修等にも参加し、正しい知識を全職員で理解して適切に対応できるようにする。 | A | 今年度はアレルギー対応の研修等にも参加し、正しい知識を全職員で理解して適切に対応できるようにする。 |
| 食事 | | | | | | | | |
| 1 | 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | 一人ひとりの食事の状況を把握して無理に食べさせることのないようにしている。「おいしくね」などの共食や、「これ食べられてえらいね」などほめ、日々、食事の中で楽しむ食べられるような環境を整えるようにしている。 | A | 給食職員と連携し、畑で収穫した野菜などをクッキングなどの機会を増やす。年齢ごとに段階的に楽しく食べ物に興味を持てるような活動に力を入れる。 | A | 食べることが楽しいと思える経験を積み重ねられるよう関わりを大事にしている。野菜に実際に触れたり、クッキングや行事食を食べることを日々の保育計画に組み入れる。 | A | 食べることが楽しいと思える経験を積み重ねられるよう関わりを大事にしている。 |
| 2 | 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | 衛生管理の徹底や、個々の発達に応じた調理形態に配慮した食事の提供ができていく。 | A | 食養生、調理師、保育者が連携して衛生管理に努め、安心な食事を提供できるようにする。 | A | 食養生、調理師、保育者が連携して衛生管理に努め、安心な食事を提供できるようにする。 | A | 衛生管理の徹底や、個々の発達に応じた調理形態に配慮した食事の提供ができていく。 |
| 子育て支援 | | | | | | | | |
| 家庭との緊密な連携 | | | | | | | | |
| 1 | 子どもを生活に充実させるために、家庭との連携を行っている。 | おうちえん、園だより、クラスだよりを発行して、園での活動の様子を知らせたり、毎日の送迎時、連絡帳等で園の子どもたちの姿や育ちを伝え合っている。 | A | 引き続き、家庭とのきめ細やかな連携を大切に、園での活動の様子を知らせたり、毎日の送迎時、連絡帳等で園の子どもたちの姿や育ちを伝え合っている。 | A | おうちえん、園だより、クラスだよりを発行して、園での活動の様子を知らせたり、毎日の送迎時、連絡帳等で園の子どもたちの姿や育ちを伝え合っている。 | A | 園だより、クラスだよりを発行して、園での活動の様子を知らせたり、毎日の送迎時、連絡帳等で園の子どもたちの姿や育ちを伝え合っている。 |
| 保護者等の支援 | | | | | | | | |
| 1 | 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | 保護者からの相談に応じて、それぞれの状況や悩みに寄り添って、必要な情報や支援を届け、どの職員でも話しやすい園の雰囲気作りをしている。 | A | 個人情報を守りつつ、保護者の個々の状況を全職員で把握して、園での保護者の気持ちに寄り添うなど、状況に合わせた子育て支援を行っている。 | A | 個人情報を守りつつ、保護者の個々の状況を全職員で把握して、状況に合わせた子育て支援を行っている。 | A | 個人情報を守りつつ、保護者の個々の状況を全職員で把握して、状況に合わせた子育て支援を行っている。 |
| 2 | 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | 虐待防止マニュアルの共通理解をした上で、毎日の着替えやおむつ交換の際に子どもの体に異常がないか確認したり、清潔にしている。不安感や表情など心構えや行動なども注意して見るようにしている。 | A | 子どもの心身の状況や持ち物の状態、保護者の養育状況等を全職員で把握し、虐待等権利侵害の防止に努めている。園では子どもへの権利と尊厳を守る姿勢を家庭へ示している。 | A | 引き続き、子ども心身の状況や保護者の養育状況を全職員で把握し、虐待等権利侵害の防止に努めている。 | A | 虐待防止マニュアルの共通理解をした上で、毎日の着替えやおむつ交換の際に子どもの体に異常がないか確認をしたり、不安感や表情など心構えや行動なども注意して見るようにしている。 |
| 保育の質の向上 | | | | | | | | |
| 1 | 保育士が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | 定期的に保育セルフチェック等を行い、保育の振り返りや改善に努めたり、園内研修を進めている。月2回の協議を通じて職員間の話し合いの時間の確保を工夫して行っている。全職員の参加が難しい時もあり、共通理解の仕方が課題である。 | B | 引き続き園内研修の時間確保、外部研修への積極的な参加をしていく。職員間の共通理解の方法について対策が必要がある。 | B | 定期的に保育セルフチェック等を行い、保育の振り返りや改善に努めたり、園内研修を進めている。職員間の話し合いの時間の確保を工夫して行っている。全職員の参加が難しい時もあり、共通理解の仕方が課題である。 | B | 定期的に保育セルフチェック等を行い、保育の振り返りや改善に努めたり、園内研修を進めている。職員間の話し合いの時間の確保が難しく、課題である。 |